

## V おわりに

以上、令和3年度の市政執行にあたって基本的な考え方について述べさせていただきました。

本格的な人口減少に直面し、近い将来、多くの自治体で経済力を維持することが難しい状況となることが予想されます。

しかし、この厳しい時代だからこそ地方には大きなチャンスだと捉え、このまちから変革を起こす攻めの姿勢で困難を着実に乗り越えていかなければなりません。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で私たちの生活が一変しましたが、この難局でも動きを止めることなく、今できることを確実にしながら本市が基点となり地域を再生できるよう市民の皆さまと協力しあうことが重要であります。

人生100年時代に向けて、今後も夢と希望を与えられる伊達市にするために、市民の皆さまの知恵と想いを集め、この苦境の中でも勝ち続けるまちにしていきたいと考えております。

市民の皆さまとともに策定した「第7次伊達市総合計画」に掲げた将来像の実現に向けて、多くの市民がまちづくりの担い手となり、共に支え合い、豊かさを感じながら、将来も住み続けたいと思えるようなまちを目指して、今後も進化を続けながら市民の皆さまとともにまちづくりに取り組んでまいります。

むすびにあたり、市民の皆さまから寄せられた市政全般にわたる温かいご支援、ご協力に心から感謝申し上げますとともに、市議会議員及び市民の皆さまの益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。